日本学術会議×防災・減災20機関による
公開シンポジウム

JHoP 防災減災連携研究ハブ
Japan Hub of Disaster Resilience Partners

分野横断を活性化する『防災減災連携研究ハブ(JHoP)』が目指す持続可能でレジリエントな社会

防災減災連携研究ハブ（JHoP）は、防災・減災に関わる大学、研究機関、実務機関の２０ 組織が連携し、災害リスクの軽減、持続可能な開発、気候変動適応という相互に関連する社会課題の統合的な解決を目指して活動するネットワークです。シンポジウムでは、JHoP 参画機関の登壇者が多様な実践を紹介するとともに、日本学術会議より2026 年4 月10 日に発出された提言「壊滅的災害が想定されるメガシティの防災力強化に向けた科学技術イノベーション」とJHoP の4 つの活動を掛け合わせて議論し、学術と社会をつなぐ防災減災の連携強化を目指します。

JHoPを核とする、産官学民連携による研究推進・人材育成のネットワーク

プログラム

10:00　オープニングセッション
開催趣旨、JHoP の紹介：寶 馨（日本学術会議連携会員、国立研究開発法人防災科学技術研究所理事長）

提言：壊滅的災害が想定されるメガシティの防災力強化に向けた科学技術イノベーションの概要
田村 圭子（日本学術会議第三部会員、新潟大学危機管理本部危機管理センター特任教授）

10:40 第一セッション：災害にレジリエントな都市に向けた減災政策（第３章）×scienceに基づく政策形成
進行：大原 美保（日本学術会議連携会員、東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター教授）

13:00 第二セッション：防災情報の発信と流通（第６章）× 情報基盤の標準化
進行：栗林 大輔（IRDR 活動推進小委員会委員、国立研究開発法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター 上席研究員）

14:30 第三セッション：都市防災の担い手（第７章）× 人材育成と教育体制強化
進行：田村 圭子（日本学術会議第三部会員、新潟大学危機管理本部危機管理センター特任教授）

16:00 第四セッション：メガシティの防災のための科学技術イノベーション（第８章）×産学官民連携
進行：臼田 裕一郎（日本学術会議連携会員、国立研究開発法人防災科学技術研究所 総合防災情報センター長）

17:20 おわりに：多々納 裕一（日本学術会議第三部会員、京都大学防災研究所社会防災研究部門 教授）

※各セッションではJHoP参加組織の登壇者が活動を紹介し、提言の実現に向けた取組みについてパネルディスカッションを行います。

日時：令和８年８月２６日（水）10:00～17:30　　**参加費無料**
場所：日本学術会議講堂（ハイブリッド開催）オンライン配信あり
東京都港区六本木7-22-34
事前参加登録をお願いします。申込締切　8月19日（水）正午
申し込みサイト　https://www17.webcas.net/form/pub/bosai/jhop_0826
お問い合わせ：防災科学技術研究所　JHoP事務局　info-jhop@bosai.go.jp

主 催：日本学術会議 土木工学・建築学委員会 IRDR 分科会, 防災減災連携研究ハブ　　共 催：国立研究開発法人 防災科学技術研究所